

事務事業名	地域産品ブランド化事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	終了
H29作成課等名	工業課	H29係等名	工業振興係	H28担当課等名	工業課	
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり			
目的	対象(誰・何を)	地域内製造業者 農産物生産販売事業者		対象指標	指標名及び単位	
	意図(どういう状態にするか)	ブランド力の向上と企業間の協力体制を築くことで、付加価値の高い産品を生み出し、企業の安定的な成長をねらう。			工業統計による地域内事業所数(飯田下伊那)	
	向上させたい上位施策の成果指標	海外チャレンジ事業による新規商談成立商品数(累計)			486	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	付加価値を高めた案件		5	5	5
	定性目標					
事業概要	<p>地元産品をブランド化させることにより、高付加価値産品を流通させ地域経済を活性化する。南信州地域を対象エリアとする産業センターへの委託事業とするが、農・商・工・観・林などとの連携事業として実施する。専門家からのアドバイスを受けながら、域産域消も含め地域産品をブランド化し、販売戦略を構築する。飯田市産業親善大使(小椋ケンイチ氏、小沢あきこ氏)との連携によるブランドイメージ向上戦略を展開する。国内外にブランド力のある「市田柿」と連携し、東アジア地域を中心とする将来性のある市場へのPRを図る。南信州「吉鍋(よしなべ)」研究会による、こうや豆腐、漬物、味噌、醤油及び地域農産物の需要拡大を図る。</p>					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	<p>1 食品産業相談支援員の配置支援 2 南信州ブランド化の支援 (1) 飯田産業親善大使を活用した飯田水引コンテストやPRツールへの支援(小椋ケンイチ氏、小沢あきこ氏) (2) つぶほまれブランド化事業の推進 (3) 南信州「吉鍋(よしなべ)」研究会の支援 3 農商工等連携の推進 (1) 異産業連携による省力化・安定収量確保機械等の販路開拓支援 4 東アジア(香港・台湾等)の市場調査を兼ねた販路開拓支援 5 地域産品PRを兼ねた販売促進支援 6 新たなブランド品発掘のためのプロモーション活動支援</p>			<p>1 人 2 (1) 産業親善大使委嘱数 (2) 生産量/加盟団体数 (3) 研究会開催数 3 (1) 支援案件数 4 出展参加人数 5 出展回数 6 支援案件数</p>		<p>1 1人 2 (1) 2人 (2) 14t/44団体 (3) 2回 3 (1) 1件 4 5名 5 10回 6 1件</p>
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		3,036	3,036	3,036	0	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
一般財源		3,036	3,036	3,036		
人件費計(千円)②		1,073	0	1,073	0	
正規職員所要時間		300		300		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		4,109	3,036	4,109	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>飯田市産業親善大使として小椋ケンイチ氏(飯田水引)・小沢あきこ氏(飯田菓子)を委嘱したことにより、知名度及びブランド力の向上に資することができた。食品産業相談支援員との連携により、つぶほまれ等の事業化を推進することができ、皮革の新たなグループへの支援や果樹等の海外販路開拓を行うことで付加価値を高めることができた。</p>					
改革改善の考え方	①問題点	飯田市産業親善大使・食品産業相談支援員の有効な活用方法について関係各団体等と調整を図る必要がある。つぶほまれ収量確保に向けた新たな取り組みが必要である。				
	②改革提案	飯田市産業親善大使の思いと関係各団体等の意思や意向を確認しながら事業を展開する。地域活性化プログラム重点プロジェクト事業の推進として有効活用を検討する。				